

# 切な治療サイバーナイフ

今回は副院長で脳神経外科の西崎統医師に、  
脳腫瘍や脳動脈奇形などへの治療装置「サイバー  
ナイフ」での切らない治療について伺いました。



▲西崎統医師

突然ですが、サイバーナイフと聞いてどのようなもの想像されますか？ガンダムみたいな？いえいえ違います。サイバーナイフは「切らない治療」ができる定位放射線治療を行う治療装置です。四国では唯一、当院に導入されています。

通常、頭痛・めまい・麻痺症状などで病院を受診しCT及びMRIで脳腫瘍や頭頸

部腫瘍、脊髄脊髄腫瘍、脳動脈奇形などの病気が発見されることがあります。また偶然に検診や癌の全身精査で脳や頭頸部、脊椎に病変が見つかることもあります。

そうした場合、我々脳神経外科では「切る」手術治療を行ってきたが、「できるだけ切らない」で治療することや、安全な範囲のみ摘出し危険な部位にはサイバーナイフを追加する治療が最近の潮流になっていきます。

サイバーナイフによる定位放射線治療は、

頭部の外部の多方向より定まった位置にある脳腫瘍や脳動脈奇形にめがけて多方向から集中的に放射線を照射し狙い撃ちします。病変の周囲への被曝は極端に少なく済みます。

また治療時にはベッドに横になり狙い撃ち、プラスチックマスクで頭部などを固定するため、治療前から治療後まで痛みがないのも特徴です。治療効果も病気の種類によりですが、数年間の経過で90%前後の制御率です。

病変は小さなものほど治療効果は高く、早

めに脳神経外科専門医へのお気軽な受診をお勧めします。また、病気が見つかったとして、もあきらめず、主治医と相談の上、サイバーナイフセンターへご相談ください。

社会福祉法人



恩賜財団 済生会今治病院

今治市喜田村7丁目1番6号

<https://www.imabari.saiseikai.or.jp/>

☎0898-47-2500

